

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	中原区第2グループ(住吉・井田)	評価対象年度	平成27年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H26		H27		H26		H27	
	1 住吉こども文化センター ①年間延べ利用者数	28,596人	27,199人	②年間延べ利用団体数	259団体	188団体		
2 住吉小学校わくわくプラザ ①登録者数	243人	242人	②年間延べ利用者数	15,481人	14,251人			
3 東住吉小学校わくわくプラザ ①登録者数	191人	224人	②年間延べ利用者数	11,496人	13,647人			
1 井田こども文化センター ①年間延べ利用者数	42,027人	43,047人	②年間延べ利用団体数	167団体	161団体			
2 井田小学校わくわくプラザ ①登録者数	422人	399人	②年間延べ利用者数	22,214人	23,152人			
3 下小田中小学校わくわくプラザ ①登録者数	442人	451人	②年間延べ利用者数	20,940人	20,225人			
収支実績	単位:円							
1 収入								
指定管理料	102,676,367							
2 支出								
人件費	83,724,155							
管理費	7,888,301							
事務経費	4,886,722							
その他経費	3,132,076							
合計	99,631,254							
3 差引	3,045,113							
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、活動や運営に反映。事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など地域を超えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	3	6
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
<p>(評価の理由) 複数館運営するスケールメリットを活かし、全施設及び区内10館の合同行事を実施し、複数館で実施ならではの体験や他の施設を利用することも遠くまで交流を深めた。グループ合同行事では計画通りに「マンカラ大会交流」「わくわく交流ドッジボール大会」を実施した。マンカラ大会は財団全館合同事業であるマンカラ大会にもつながるものであり、3名1チームの団体戦をとったことで、勝敗を左右する責任感、連帯意識等チームメイト同士の気遣い交流につながった。住吉こども文化センターでは、子どもたちの人気の高いカードゲームを学年を問わない「カードゲーム大会」として開催したところ、中高生の参加があり、彼らが率先して大会の進行を務めてく、その後の中学生の利用者数増加につながった。井田こども文化センターでは地域交流事業として地域介護施設へ3回訪問したり、「パネルシアター&カレーパーティ」を地域の協力を得ながら実施し、来場者数が前年度より20%増えた。</p>					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
		計画に基づき適切な支出をしているか			
	効率的・効果的な支出	効率的な執行等、経費削減に具体的に取組んでいるか	5	3	3
		サービスの水準を確保しているか			
<p>(評価の理由) 会計処理・金銭処理については適正に行われている。受託20グループ53施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取り組みによる経費削減を図った。</p>					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	4	4
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	4	4
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	4	8
<p>(評価の理由) 利用案内のパンフレットや小学生向けのたよりは毎月発行し、近隣に配布、施設案内や毎月の活動を周知した。また、同じく毎月発行する乳幼児向けのたよりについては、大きさをA4サイズからカードサイズの冊子に変更することで、子どもをかかえた親がさっと手にとりポケット等に仕舞やすくなり持ち帰ってもらえ、乳幼児世帯への広報に繋がった。特別な配慮を必要とする児童への対応については、保護者とは連絡ノートでのやり取り、特別支援級担当教諭とは児童をわくわくに引き継ぐ際に必ず対面し、その日の様子を確認し、一人一人の特性に合わせてスタッフ全員で見守り支援した。こども文化センターの運営協議会やわくわくプラザ保護者懇談会は計画通りに実施された。住吉こども文化センターでは運営協議会との共催事業の「住吉こども文化センターまつり」等に子ども運営委員が中学生を含め6名参加し、スタッフとして活躍したり、井田こども文化センターでは地域ボランティアの協力を得て「収穫祭」を開催し、親子参加の機会を促進したり、下小田中小学校わくわくは年3回介護施設を訪問するなど積極的に地域及び世代交流を図った。住吉こども文化センターではPTAボランティアと連携して「絵本の読み聞かせ」を実施した。利用者の代表である子ども運営会議に毎月どんな企画をしたいか意見を聞き、見たい映画ややりたい遊び等希望の半分以上を事業として実施した。また「洗面台が狭く、水が飛び散って困る」という利用者からの要望に対しては、洗面台を大きく改修することで対応した。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	川崎市児童福祉施設設備及び運営の基準に関する条例第54条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		こども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
	川崎市公契約条例を遵守しているか				
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	4	8
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
<p>(評価の理由) 適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、適正に職員が配置され、利用児童数や特別な配慮を必要とする児童などの状況に応じて、適時、職員を加配しており、円滑な事業運営が行われた。研修体制については、法人全体の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、または、職位ごと、分野ごとの研修など、体系的・計画的な研修が行われていた。特に、グループで実施する「工作の研修」では6施設それぞれの工作を持ち寄り、子どもたちに教えるときのポイントやレシビを学び合うことでその後の工作行事に役立てることができた。また、研修受講後は会議等でフィードバックしたり、研修に参加した者が講師となり新任職員等へ研修を実施したり、情報を共有するよう留意している。個人情報等の取扱については、個人情報や電子データは鍵のかかる保管庫に保管されて、開所時間中でも利用者等の目に触れないよう注意している。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来たすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか					
<p>(評価の理由) 利用者が安全に利用できるようマニュアルを作成し、施設・設備の安全点検を実施するとともに、迅速に修繕を行うなど環境整備に努めた。また衛生管理についてもマニュアルを整備し、利用者の安心・安全に繋げた。特に住吉こども文化センターでは料理クラブを年10回程度開催するにあたり、衛生管理とともに食物アレルギーについてもクラブ活動の開催毎に保護者へ確認し、十分注意した。また、児童の防災意識の向上のため、こども文化センター、わくわくの児童に防犯ポスターの作成を投げかけたところ約50人の児童が参加し、書かれた作品は園の外周フェンスや町内の掲示板に掲示し、子どもたちの防犯意識の向上に積極的に取り組んだ。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>指定管理者以前からこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わった経験を生かし、地域に根ざした事業運営、施設運営を行った。子ども運営会議等を通して利用者ニーズを把握しつつ、地域と連携した特色のある事業展開を行った。</p> <p>適切な施設管理及び研修等を通じた職員のスキルアップを行うことで、子どもの安全を守り、子どもが安心して過ごせる居場所づくりを行った。防犯対策において、独自の取組により子どもの防犯意識を高めたことは評価できる。</p>

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>引き続き、こども文化センター及びわくわくプラザの利用者が安心して利用できるよう環境整備やスタッフのスキル向上に努め、利用者にとって各施設がより居心地の良い場となることを期待する。また、スタッフ一人一人が子どもの権利条例を理解し、子どもの居場所としての側面を意識することを期待する。</p>
